

研究課題名：	多項目病原体遺伝子検査を用いた小児の尿路感染症迅速診断・治療に資する研究
所属(診療科等)：	公立昭和病院 小児科
研究責任者(職名)：	大場 邦弘 (副部長)
研究期間：	2021年12月23日～西暦2023年3月31日
研究目的と意義：	乳幼児期の発熱の原因として4～7.5%をしめる尿路感染症は、症状が非特異的でありながら、しばしば重症化し敗血症に至ることや腎瘢痕化を残すことがあります。特に腎瘢痕を予防するために、抗菌薬での早期治療が重要とされています。現状では、原因菌の菌種が判明するまでに少なくとも2日間はかかるため、その間は、経験的に選択された抗菌薬で治療が行われているのが実情です。そこで、尿路感染症疑いの小児患者から診療のために採取された尿検体(過去の保存検体も含む)の残検体を対象に、既に体外診断用医薬品(血液培養陽性サンプルのみ)として承認されている全自動多項目遺伝子検査 FilmArray 血液培養パネルを用いて迅速に病原体検出を行うことで、適切な抗菌薬での治療を開始できることが期待されるとともに、日本政府が謳う薬剤耐性対策アクションプランへの貢献にもつながり、社会的意義は大きいと考えられます。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2021年4月1日から2023年3月31日の間に、尿路感染疑いの小児患者から診療のために採取された臨床検体の残余と情報を対象とする。 ●利用するカルテ情報 年齢・性別・症状・身体所見・検査結果・治療経過についての記録等 ●研究方法 前向きおよび後ろ向きに多項目病原体遺伝子検査の有用性の検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：大場 邦弘 (小児科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>